



## OR7年度 教育ビジョン評価【結果】について

### 重点項目1 自ら考える生徒の育成

[指標]	① 授業では、ペアやグループで話し合う活動が好きだ	71.4% (A評価)
	② 授業では、自分の考えを伝えている	32.7% (B評価)
	③ 平日、家で1日に80分以上勉強している	42.9% (C評価)

#### [総括評価と次年度へ]

①②において生徒はペアやグループでの話し合い活動に親しんでいる反面、自分の考えを伝える場を充実させる必要があります。次年度に向けて、職員研修を通して協働的な学びに関する共通理解を充実させ、ペアやグループ活動の場面設定とともに、意図的・計画的なアウトプットの場面設定により思考力・判断力・表現力の育成を目指します。③の家庭学習においては新潟市の推奨する時間(1年生80分、2年生100分、3年生120分)は達成できていません。各教科における学習課題・まとめ・振り返りを丁寧に学び意欲の向上に迫るとともに、自身のタイムコントロールと生活改善も意識させていきます。

### 重点項目2 進んで行動する生徒の育成

[指標]	① いじめはどんな理由があってもいけない	93.9% (A評価)
	② 自分や周りの人たちの個性や違いも認めたり、大切にしたりしている	81.6% (A評価)
	③ 自分で考え課題を解決したり、自分で判断して行動したりしている	46.9% (A評価)

#### [総括評価と次年度へ]

②において新潟市平均と比較して+9.4ポイントとなったことは、中間評価以降に生徒会で行った「感謝」や「嬉しさ」を伝える活動や意識的に仲間の良さを探し発信する活動の成果と考えられます。次年度に向けて、諸活動において生徒に様々な立場を経験させ、相手の立場になって関わりをもてる力を育てていきます。また、教師が見守りつつ生徒に任せる場面を増やすことで、失敗からの気づきや学びを大切に、次の行動への意欲に繋げていきます。

### 重点項目3 最後までやり抜く生徒の育成

[指標]	① 自分には良いところがあります	61.2% (A評価)
	② 学習や生活の目当てをもって、毎日を過ごしています	46.9% (A評価)
	③ お子さんは学習や生活において、目当てをもって最後までやりぬこうとしている	25.0% (C評価)

#### [総括評価と次年度へ]

②③において、生徒と保護者の認識にギャップが見られることが分かりました。次年度はオープンスクールを定期的に設定したり、学校からの各種おたよりを充実させたりしながら保護者や地域の皆様のご理解を図っていきます。また、総合的な学習においては、各学年の目標や学習活動の見直しを図り、系統性をもたせた取組を計画するとともに、課題設定や振り返りにより生徒自身がPDCAサイクルを実感できる活動となるよう支援していきます。今年度1年生で取り組んだレジリエンス力を向上させる授業については、発達段階に応じて2・3年生にも実施を計画し、全学年でレジリエンス力の向上に努めてまいります。